

(1)報告事項 ①平成30年度保健所圏地域・職域連携推進事業実施報告

●たばこ

※ 記載時点で未実施のものは(予定)と記載してください。

保健所	テーマ	協議会		作業部会		共同事業	成果及び課題	備考 (今年度の 啓発物等)
		開催 回数	内容	開催 回数	内容			
習志野	職域における喫煙対策 【平成28年度～30年度 の3か年計画】	1	1 日時:平成30年12月5日(木)午後6時30分～8時 2 出席者数:18機関 22人 3 内容 (1)報告 平成30年度習志野地域・職域連携推進協議会の取組み3か年計画の達成状況について報告 (2)議事 平成31年度習志野地域・職域連携推進協議会の取組み(案)について検討 ・労働基準監督署から労働災害からみる健康対策について情報提供 ・たばこ問題を考える会・千葉より、受動喫煙対策からみる生活習慣病について情報提供 ・作業部会で取りまとめた平成31年度の協議会取組み案の検討	2	1 第1回作業部会 (1)日時:平成30年11月2日(金)10時～11時30分 (2)出席者数:8 機関 10人 (3)内容 ①平成30年度の取組みについて 3か年計画のまとめについて ②平成31年度の取組み(案)について 次年度以降の取組み(案)について 2 第2回作業部会 (1)日時:平成31年2月27日(月)10時～11時15分 (2)出席者数:7 機関 9人 (3)内容 ①協議会報告 ②次年度の活動計画(案)の策定 ・啓発活動年間スケジュール(案)作成 ・通信の内容検討	1 受動喫煙防止セミナー (1)日時:平成30年9月12日(水)午後1時～4時 (2)対象:事業所労働安全責任者等 (3)参加者数:29事業所35人 (4)内容 講演:「受動喫煙セミナー」 講師:国立がん研究センターがん対策情報センター たばこ対策支援部 主任研究員 吉見逸郎氏 2 健康教育(15回、参加者数:1,321機関 1,391人) 船橋労働基準協会建設業労働災害防止協会が行う「全国安全週間実施要項事前説明会」、食品衛生協会が行う「衛生講習会」の参加者に対し、喫煙に関する知識の普及のための健康教育を行った。 3 啓発リーフレット作成及び配布(チラシ配布数:2,136枚) 健康教育及び各市や関係機関等が実施する健康フェアや産業まつりを通じ、保健所で作成したチラシを配布。 4 環境表示の推進(新規参加事業所:29事業所) 環境表示の推進を目的に、チラシの作成を行い参加事業所の拡大を目指している 5 スマートライフプロジェクトへの参加(6施設) スマートライフプロジェクトへの参加を周知した。 6 ホームページアクセス数(1,699件) 保健所のホームページにリンク設定を行い、啓発普及に務めた。 7 啓発物資による普及啓発 県から提供されたうちわやカイロを職域の団体等に配布した。	3か年計画で設定した目標値については、関係機関の協力を得ながら、概ね達成することができた。 しかし、スマートライフプロジェクトの申込企業、団体については目標値の60%にとどまった。 これは、事業所は健康に関する問題に対する意識はあっても、生産性重視となるため、なかなか優先順位を高くして取り組めない現状にあるためであった。 しかし、従業員の高齢化に伴い、健康診断の有所見率の上昇や労働災害の第1位は業種にかかわらず転倒によるものであり、職場環境整備と健康づくりを併せて実施できる健康づくりの取組みの必要性が認められた。	1 たばこの害啓発リーフレット 2 環境表示推進のためのチラシ
市川	地域保健と職域保健の 協力・連携による たばこ対策 平成27年度～平成31年度まで	1	日時:平成31年2月20日(水) 14時～15時30分 内容: (1)平成30年度事業の評価について ア 平成30年度事業実施報告・評価について イ 各機関の活動報告 (2)「事業所のたばこ対策事例集(案)」について (3)平成31年度事業計画(案)について 出席者人数:18名	2	1 第1回作業部会 日時:平成30年8月7日 内容:平成30年度事業について 出席者人数:9名 2 第2回作業部会 日時:平成31年1月31日 内容: ①平成30年度事業実施結果について ②「事業所のたばこ対策事例集」について 出席者人数:10名	1 事業所における喫煙対策支援(事例集の作成) ・作業部会構成員の推薦で8事業所にインタビューを実施 ・事例集を作成 ・改正健康増進法に関する情報等、付録情報を掲載 ・会議・研修会等での活用(H31年度予定) 2 職域保健関係者等の人材育成 ①事業所での健康教育 「職場とお客様のために取り組むタバコ対策」 日時:平成30年8月30日(木)15時～16時 内容:職場における喫煙対策について 参加者:構中野工務店 管理者及び従業員 42名 ②全国労働衛生週間事前説明会 日時:平成30年9月6日(木)13時～16時 内容:管内事業所のたばこ対策の状況等の説明 血管年齢測定・肺年齢測定(希望者) ③事業所での健康教育(2) 「元気で働き続けるために～職場で取り組むタバコ対策」 日時:平成31年1月23日(水)15時～16時 内容:職場における喫煙対策について 参加者:(公財)市川市清掃公社 従業員 36名 3 受動喫煙防止啓発事業 配布対象及び配布数: ①会議・研修会等での配布 2,751個 ②窓口等での配布 632個 ③禁煙支援薬局を通じた禁煙希望者への配布 150個	1 事業所における喫煙対策支援 ・作業部会構成員から該当事業所を推薦いただくことにより、地域と職域が連携した事業展開となった。 ・事例集を活用し、事業所でのたばこ対策を実施していただくためには、適切な対象者の対する啓発の場を検討する必要がある。 2 職域保健関係者の人材育成 ・健康教育を実施した事業所については、アンケートで職場全体としてたばこ対策に取り組む必要性の認知度が向上したことが確認できた。 ・事業所へ向いての健康教育は、対象の実態に合わせた内容の講演が実施できるだけでなく、講師から事業所の担当者への困りごとに直接具体的なアドバイスができた。 育成できる数は少ないが、実際に事業所でのたばこ対策が前進するための確実性のある方法であることが確認できた。 3. 受動喫煙防止啓発事業 ・作業部会構成員の発案で禁煙支援薬局を通じた啓発物の配布ができた。 ・不特定多数への啓発物の配布については、効果の評価ができない。	1 クリアファイル 2 使い捨てカイロ 3 ボックステッシュ 4 うちわ

(1)報告事項 ①平成30年度保健所圏地域・職域連携推進事業実施報告

●たばこ

※ 記載時点で未実施のものは(予定)と記載してください。

保健所	テーマ	協議会		作業部会		共同事業	成果及び課題	備考 (今年度の 啓発物等)
		開催 回数	内容	開催 回数	内容			
松戸	「たばこ対策」 2017年度（H29年度） ～2020年度まで （当初、H29年度から 3カ年計画であった が、オリ・パラの2020 年度までは、当該テ ーマでの取組を継続す ることとなった）	1	日時：平成30年11月15日 内容： （1）出張講座・禁煙外来受診者アンケートの実施報告 （2）今後の事業内容について （3）各機関のたばこ対策の取組み、評価方法・項目等について 出席者人数：18名	1	第1回作業部会 日時：平成30年9月4日 内容： （1）松戸圏域 地域・職域連携推進事業について （2）平成29年度地域・職域連携推進事業の実績について （3）平成30年度地域・職域連携推進事業の取組みについて 出席者人数：13名	1 研修会「受動喫煙が及ぼす健康への影響」 日時：平成30年11月15日 内容：受動喫煙が及ぼす健康への影響、たばこ対策の全体像、新たなたばこ（加熱式たばこ等）の影響について、国立保健医療科学院の生活環境研究部 樺田尚樹部長より、最新情報を踏まえた研修を行った。 参加者：（対象）協議会・作業部会委員、行政や医療機関等のたばこ対策に関わる職員。（人数）35名 2 出張講座 ※H30年8月27日 柏労働基準協会松戸・流山支部「全国労働衛生週間事前説明会」たばこ対策出張講座PRを63事業所に対し実施。 日時：①H30年9月20日管内事業所での健康教育 ②H30年10月4日管内事業所での健康教育 ③H30年12月18日管内高校でのプレ職域世代への健康教育 内容：たばこが身体に及ぼす影響について、禁煙外来について、受動喫煙の防止について 参加者：①58名 ②20名 ③725名 3 禁煙外来受診者アンケートの実施 期間：平成30年1～12月 4 受動喫煙等に関するアンケートの実施 期間：平成30年12月～平成31年2月 3,217部回収・集計中 5 啓発クリアファイル、リーフレットの作成及び配布 ・クリアファイル「やめたいあなたを応援！」A4クリアファイル（5,000部作成予定） ・リーフレット「受動喫煙とは...？」アンケート回答者に配布（約3,000部）	【成果】・研修会では、協議会、作業部会委員等たばこ対策に関わる職員が、科学的根拠に基づいた高い知識を持って取り組めるような内容・講師を企画し実施した。実施後アンケートからも、「今後のたばこ対策に活かせる」と回答したものが8割を超えた。 ・出張講座では、計3回実施し、職域、プレ職域世代を中心にたばこが身体に及ぼす影響について啓発を行った。実施後のアンケート結果から、受動喫煙に関する理解度が上がったり、禁煙外来に関する情報が得られたといった回答があり、当協議会が目指す「たばこをやめたい人への支援」「受動喫煙の防止」に沿った啓発となった。また、各市(地域)で取り組んでいるたばこ対策を職域で働く層へ啓発し、それを理解・共有することができ、生涯を通じた健康づくりの一助となった。 【課題】 ・出張講座については、職域に対し具体的かつ直接的な活動として実施していきたいが、賛同（希望）してくれる事業所数が増加していないことが課題。 ・「たばこをやめたい人への支援」として、禁煙外来受診者アンケートを実施したが、回答数が8名であり、その傾向等を分析するに至らなかった。そのため、協議会・作業部会に諮り、新たな取り組みとして「受動喫煙等アンケート」を実施することとなった。	1「やめたいあなたを応援！」A4クリアファイル 2「受動喫煙とは...？」リーフレット
香取	はじめよう！働きざかりの心とからだの健康づくり（地域と職域の生活習慣病予防） 平成25年度～34年度までの 10カ年計画	1	日時：平成30年8月3日(金) 午前10時～11時30分 内容： （1）本協議会のこれまでの取組について （2）今後5年間の計画について （3）平成30年度事業計画について ・たばこ対策に関する実態調査 ・管内工業団地連絡会議の開催 出席者人数：23名(委員15名、オブザーバー2名、事務局6名)	2	1 第1回作業部会 日時：平成30年10月5日(金) 午後2時～3時45分 内容： （1）今年度事業の進捗について （2）たばこ対策に係る実態調査について （3）管内工業団地連絡会議の開催について 出席者人数：17名(委員11名、事務局6名) 2 第2回作業部会 日時：平成31年2月4日(月) 午後2時～3時45分 内容： （1）今年度の事業報告について （2）たばこ対策に係る実態調査について （3）次年度事業計画について 出席者人数：16名(委員10名、事務局6名)	1 講演会 （1）関係機関を対象とした研修会の開催、企画への協力 日時：平成30年12月19日 内容：講演及び運動実習、情報提供(食生活改善) 参加者：神崎工業団地内事業所の従業員87名 （2）成田労働基準協会主催説明会における事業説明 ①全国安全週間説明会「香取地域の健康づくり活動」 平成30年6月5日(火) 47名 ②労働衛生週間説明会「事業所でのたばこ対策」 平成30年8月28日(火) 31名 ③年末年始無災害運動説明会「事業所におけるたばこ対策」 平成30年12月4日(火) 36名 2 啓発リーフレット作成及び配布 （1）健康づくり活動リーフレット 事業所における健康づくりに関する取組をインタビューし、リーフレットを作成 ・29年度版：7ヶ所の取組紹介 管内事業所・工業団地・商工会議所・商工会・農協・労基・市町等に配布(3,500部) ・30年度版を作成予定 3 たばこ対策に関する実態調査(アンケート)の実施 対象：管内工業団地50事業所 上記のうち、事前調査で従業員調査への協力可能と回答した事業所に勤務する従業員 1,665名 4 管内工業団地連絡会議の開催 (予定)平成31年3月11日(月) 午後3時～4時	【成果・課題】 ・1工業団地内において、生活習慣病予防を啓発する機会の確保が定着してきたが、他工業団地・事業所等への波及には至っていないため、継続した働きかけが必要である。 ・市町保健部門を中心とした地域と、職域による継続した啓発活動が可能な関係づくりを目指し、引き続き講演会等の実施方法を工夫していく必要がある。 ・今年度より取組を開始した「たばこ対策」について、事業所及び従業員アンケートを実施し、現状が把握できた。回答率が高く、自由記載意見も多いことから、関心の高さが伺えた。実践指針として挙げている「禁煙を希望する者に対し、禁煙外来等必要な情報を提供」「分煙に取り組む事業所の支援」に沿って、調査結果を踏まえた今後の対策について検討していく。協議会からのサポートを希望する事業所には希望内容を詳しく聞き取り、協議会委員間で連携しながら対応していく。	1 29年度版「健康づくり活動」リーフレット

(1)報告事項 ①平成30年度保健所圏地域・職域連携推進事業実施報告

●たばこ

※ 記載時点で未実施のものは(予定)と記載してください。

保健所	テーマ	協議会		作業部会		共同事業	成果及び課題	備考 (今年度の 啓発物等)
		開催 回数	内容	開催 回数	内容			
山武	たばこ対策の推進 平成30年度～平成32年度までの3ヶ年計画	1	<p>1 日時 平成31年2月6日(水)午後1時～2時30分</p> <p>2 内容 (1)平成30年度からの取組計画と評価方法について (2)平成30年度事業実績及び平成31年度事業計画(案)について</p> <p>3 出席者人数 21機関 17人</p>	2	<p>第1回</p> <p>1 日時 平成30年7月30日(月) 9時30分～11時30分</p> <p>2 内容 (1)喫煙及び受動喫煙防止対策の現状の把握及び課題の抽出 (2)山武地域における効果的なたばこ対策の実施に向けて検討</p> <p>3 出席者人数 15機関 17人</p> <p>第2回</p> <p>1 日時 平成30年12月4日(火) 10時～12時</p> <p>2 内容 (1)平成30年度～32年度事業計画及び評価方法 (2)平成31年度事業計画(素案) (3)啓発資料について (4)平成30年度事業の進捗状況について</p> <p>3 出席者人数 15機関 17人</p>	<p>1 全国安全週間説明会 日時:平成30年6月8日 内容:「たばこの煙のない生活を目指して」 参加者:事業所安全衛生管理者 92人</p> <p>2 管内事業所での健康教育 日時:平成30年12月19日 平成30年12月20日 内容:「受動喫煙防止対策の推進について」 参加者:管内事業所職員 それぞれ、20人、60人</p> <p>3 啓発資料の作成、配布 配付対象:職域関係団体、事業所職員、一般住民 配布数:約800部</p>	<p>1 成果 作業部会では、①地域、職域での喫煙及び受動喫煙防止対策の現状について共有をし、課題の抽出②山武地域における効果的なたばこ対策の実施に向けて、3年間の事業計画及び評価方法、啓発資料についての検討を行うことができた。 共同事業としては、職域に対し、講話を3回実施した。また、たばこの健康への影響及び禁煙を希望する者への禁煙支援として啓発資料を3種類作成し、講話時や関係機関で配布し、周知啓発を行った。</p> <p>2 課題 (1)タバコが健康に及ぼす影響や受動喫煙防止対策について ・特に事業所管理者への理解や家族に未成年者や妊婦のいる喫煙者に対する周知方法の工夫が必要。 (2)禁煙を希望する者や妊産婦への支援について行政だけでなく、医療機関の協力が必要。 (3)関係者の新型たばこに対する知識が不足しているので、今後、講演会等が必要。</p>	<p>・平成30年度お住まいの市町等の健康に関するサービス一覧 ・健康保険が適用できる禁煙治療医療機関 ・知っておきたい、たばこと健康について</p>
夷隅	たばこ対策 平成30年度～34年度までの5ヶ年計画	1	<p>日時:平成30年7月5日(火)</p> <p>内容: ・平成29年度夷隅地域・職域連携推進事業報告について ・平成30年度夷隅地域・職域連携推進事業計画について ・平成31年度以降の職域で取り組むべき健康課題について</p> <p>出席者人数:委員:18名、代理出席:2名、オブザーバー:4名、事務局:5名</p>	1	<p>1 第1回作業部会 日時:平成30年11月26日(月)</p> <p>内容: ・平成30年度夷隅地域・職域連携推進事業報告について ・平成31年度以降の方向性について</p> <p>出席者人数:委員:8名、事務局:5名</p>	<p>1 講演会(禁煙チャレンジ講習会) 日時:平成31年1月18日(金) 内容:講演:「たばこの健康被害について」 演習:「禁煙したい気持ちを引き出す面接法(動機づけ面接法)を学ぼう!」 講師:田那村内科小児科医院 副院長 田那村雅子先生 参加者:対象及び人数 17名 夷隅管内の事業所や施設等の健康管理者及び事業主、養護教諭・保育士・市町職員等の保健指導に係る職員並びに周囲に禁煙を勧めたい人がいる方や禁煙したい方</p> <p>2 茂原労働基準協会、茂原労働基準監督署主催の衛生管理者講習会 日時:平成30年8月29日(水) 内容:講話「生活習慣病を予防して楽しい生活を!!」～受動喫煙防止対策・特定健診、生活習慣病につながる食生活の工夫～ 講師:夷隅健康福祉センター 管理栄養士・保健師 参加者:対象及び人数 29名 茂原労働基準協会に属する夷隅地域の事業主及び健康管理者等</p> <p>3 啓発リーフレット作成及び配布 ①平成29年度事業評価アンケートの結果についてリーフレットを作成し、アンケート協力団体や研修会等で配付。保健所HPに掲載。 ②啓発用クリアファイル(禁煙)を作成して各種研修会等で配付</p>	<p>成果 ・平成26年度～平成28年度の事業評価アンケートの結果をリーフレットにして保健所HPに掲載すると共に、協力団体や各種研修会で配付し、受動喫煙防止の啓発に活用した。 ・教育機関と連携し、禁煙開始前の中学生や高校生を対象にたばこに関する啓発を兼ねたアンケートを実施し、講習を行った。 ・作業部会では各職域の委員から活発な意見を聞くことができ、次年度の事業に繋げることができた。</p> <p>課題 ・事業評価アンケート結果から、喫煙者の減少がみられなかった。また、管内の乳幼児健康診査問診票の喫煙に関する回答結果から子の月令が上がると父母共に県・国の平均を上回っていた。喫煙者の減少と妊娠中と子育て期に対する啓発向け、ターゲットを絞った受動喫煙防止対策をしていく。 ・対策が遅れがちな小規模事業所への啓発をしていく。 ・管内の特定健診結果から高血圧予備軍・糖尿病予備軍について千葉県の平均に比べ、該当割合が男女共に有意に高い結果と茂原労働基準監督署管内の定期健康診断の受診率減少がみられたため、「糖尿病等の有所見者への支援も含めた特定健診」について、新たなテーマとして取り組む。</p>	<p>1 禁煙啓発クリアファイル</p>

(1)報告事項 ①平成30年度保健所圏地域・職域連携推進事業実施報告

●たばこ

※ 記載時点で未実施のものは(予定)と記載してください。

保健所	テーマ	協議会		作業部会		共同事業	成果及び課題	備考 (今年度の 啓発物等)
		開催 回数	内容	開催 回数	内容			
君津	第2次「総合的なたばこ対策」 平成29年度～32年度までの4か年計画	1	日時：平成31年1月10日(木)午後2時～4時 内容：(1)これまでの取組みと平成29年度実績報告 (2)第2次「総合的なたばこ対策」中間評価について (3)次年度の活動方針について 出席者人数：27名(委員20名、代理1名、オブザーバー2名、事務局4名)	2	1 第1回作業部会 日時：平成30年6月25日(月)午後2時～4時 内容：(1)平成29年度実績報告 (2)平成30年度の具体的な取組みについて (3)中間評価について (4)その他 出席者人数：16名(作業部会員11名、助言者1名、事務局4名) 2 第2回作業部会 日時：平成30年12月3日(月)午後2時～4時 内容：(1)中間評価の検討 (2)実施計画(アクションプラン)修正案検討 出席者人数：14名(作業部会員10名、事務局4名)	1 講演会 (1)日時：①平成30年6月28日(木) ②平成30年12月11日(火) ③平成30年12月17日(月) 内容：思春期保健事業「命の大切さを育む事業」で中学生に対して実施している講演会の中で、防煙教育も実施。 参加者：①72名②50名③100名 2 イベントにおける啓発活動 日時：①平成30年7月7日(土) ②平成30年9月30日(日) ③平成30年10月27日(土) 内容：たばこに関する知識クイズを実施 参加者：①146名②62名③221名 3 その他 (1)日時：①平成30年4月18日(水) ②平成30年7月25日(水) ③平成30年10月3日(水) ④平成31年2月6日(水) 内容：新規営業者講習会において受動喫煙防止対策協力施設の登録推進のための普及、啓発活動を実施 参加者：①15名②15名③11名④24名 (2)がん検診の案内作成、配布 配付状況：ケアマネジャー研修会：37部、 労働衛生週間説明会：123部、 イベント：146部 (3)調査(事業所の受動喫煙防止対策実施状況、 学校における防煙教育実施状況、 病院における受動喫煙防止対策実施状況)	【成果】 ①アクションプランに定めた評価指標については、中間評価の結果、達成度に達したものが全体の54.5%であり、各機関の取組みにより管内のたばこ対策が推進してきているといえる。 ②地域保健、職域保健、学校保健が連携して取り組むことで受動喫煙防止対策の意識が高まってきている。 【課題】 ①健康増進法改正について、各機関が管轄する施設等に対し適切に対応する必要がある。 ②第2次「総合的なたばこ対策」は平成32年度まで取組みを進めるが、その後の取り組む健康課題の特定のため、関わる機関との意見交換や調査等の実施を検討する必要がある。	1 平成30年度がん検診のご案内

平成30年度保健所圏域地域・職域連携推進事業の実績報告書

●たばこ、糖尿病、フレイル、健康経営等

※ 記載時点で未実施のものは(予定)と記載してください。

保健所	テーマ	協議会		作業部会		共同事業	成果及び課題	備考 (今年度の 啓発物等)
		開催 回数	内容	開催 回数	内容			
市原	1 たばこ対策の推進 2 生活習慣病対策の推進 平成30年度～34年度までの 5か年計画	2	<p>第1回協議会 日時：平成30年7月12日 午後2時～3時30分 内容： (1) 市原地域・職域連携推進事業 実施経過 (2) 平成29年度市原地域・職域連携推進事業実績報告 (3) たばこ・生活習慣病対策の推進に係る実態調査結果報告 (4) 5か年計画(平成30年～34年)について (5) 平成30年度市原地域・職域連携推進協議会事業計画(案) (6) その他 出席者人数：協議会委員 16名</p> <p>第2回協議会 日時：平成31年2月7日(木) 午後2時～3時30分 内容： (1) 平成30年度市原地域・職域連携推進事業の進捗状況 (2) 平成30年度国保ヘルスアップ支援事業の取り組み (3) 健診データ等から見る市原地区の現状 (4) その他 出席者人数：協議会委員 17名</p>	1	<p>作業部会 日時：平成30年9月13日 午前10時～11時30分 内容： (1) 平成30年度第1回地域・職域連携推進協議会実施報告 (2) 平成30年度市原地域・職域連携推進事業実績報告 (3) 社会資源の整理について (4) その他 出席者人数： 作業部会委員 10名</p>	<p>1 出前講座・講演会・事業説明 (1) 『養護教諭研修会』 日時：平成30年5月24日 午後2時30分～2時40分 内容：講演「市原の保護者等の喫煙状況と子どもの健康を考える」市原保健所 保健師 参加者：市原市内小中学校の養護教諭 65名 (2) 『食品衛生協会主催「衛生講習会」』 日時：平成30年6月6日～29日 うち6日 午後2時20分～2時30分 内容：リーフレット「喫煙環境を店頭表示しましょう」と、受動喫煙防止対策ステッカーの配布と説明 市原保健所 管理栄養士 参加者：市原保健所管内食品衛生協会会員 1126名 (3) 『第69回全国労働衛週間実施要綱説明会』 日時：平成30年9月5日 午後2時50分～3時 内容：*千葉労働基準協会主催の説明会 市原地域・職域連携推進協議会作成のパンフレットの配布と健康づくり出前講座を案内。職場での糖尿病対策を説明 市原保健所 管理栄養士 参加者：事業所 労働安全衛生担当者等 92名 (4) 『生活習慣病対策 出前講座』 日時：平成30年12月20日 午後1時～2時 内容：講演 「自分の健康管理について」 講師：市原保健所 管理栄養士 参加者：山九プラントテクノ(株)社員等 25名 (5) 『2018年度ライフデザイン研修』 日時：平成30年10月19日 午後3時50分～5時 内容：講演「フレイル予防で健康長寿」 講演「タバコもうやめませんか？」 講師：市原保健所 研修医 参加者：19名(住化ロジスティクス(株)社員) (6) 『健康経営セミナー』 日時：平成31年2月22日 午後3時～4時30分 内容：講演「従業員の健康投資で会社も社会も大変身！」 講師：東京大学政策ビジョン研究センター 特任准教授 井出 博生氏 事例発表「健康経営」～より良い会社～ 発表者：㈱オンフェイス 代表取締役 大野 剛生氏 参加者：事業所管理者等 24名 *市原市商工会議所との共催事業 参加者：事業管理者</p> <p>2 啓発活動 (1) 『市原市主催いちほら健伴フェスタ』 日時：平成30年10月21日 午前10時～午後3時 内容：市原保健所のブースで、スモーカーライザーによる呼気中の一酸化炭素濃度の測定を来場者に実施 担当 市原保健所 保健師 スモーカーライザー実施者 45名 (2) 『世界糖尿病デー啓発イベント』 日時：平成30年11月14日 午後1時30分～3時 内容：*千葉県看護協会市原地区部会、市原市地域保健推進員協議会の協力のもと、世界糖尿病デーに、一般県民向けに、世界糖尿病デー啓発グッズと、糖尿病重症化予防リーフレット配布配布 配布数：約300部 スタッフ：市原保健所 所長、管理栄養士、保健師 等 (3) 『いちほら糖尿病予防健伴ウォーク』 日時：平成30年11月23日午前8時50分～午後2時30分 内容：*市原市主催事業に協力 糖尿病予防に関する啓発普及として、健康相談、リーフレット配布 担当：市原保健所 所長、保健師 参加者：423名 (4) チラシを活用した普及啓発 時期：通年 内容：市原地域・職域連携推進協議会作成チラシを活用した普及啓発の実施 ①グーパー食生活 充実版 2, 635枚 ②グーパー食生活 簡易版 2, 315枚 ③卒煙しませんか? 2, 365枚 (5) 広報誌への健康コラム掲載による普及啓発 時期：平成30年4月号～31年3月号まで1年間 内容：健康に関するコラムを、毎月JA市原市広報誌へ掲載する</p>	<p>【成果】 1 平成30年～5か年計画について、協議会で意見ををもらい、5か年計画の内容を確認した。併せて、今年度、目標別、関係機関別取り組み計画を見える化し、取り組みやすいように工夫した。 2 協同事業は、職域保健をはじめとする関係機関と連携及び協力して実施することができた。 3 出前講座受講者のアンケート結果から概ね好評の講座ができた。中小企業の人に日常生活を振り返り健康管理を考えるきっかけになったと思われる。事業所に出向いて、状況に合わせた講座を実施したことも好評であった理由として挙げられる。(例：健康管理の一環で、体重計を自主的に購入してもらえた。) 4 関係機関で協力し、作成したリーフレットを様々な機会に啓発に使用してもらうことができた。</p> <p>【課題】 1 中小企業向けに研修会や出前講座を企画したが参加申し込みが少なく、講座の依頼もほとんどなかった。また、出前講座の問い合わせがあった事業所でも労働災害予防を要望する内容であった。社員の健康づくりに対して、中小企業の意識が低いことが予測され、今後は、社員の健康づくりが重要であることを理解してもらうことが課題であると思われる。</p>	<p>1 啓発用リーフレット (1) たばこ対策「卒煙しませんか？」 医療機関更新増刷 (2) 生活習慣病対策「グーパー食生活」充実版・概要版の増刷</p>

平成30年度保健所圏域地域・職域連携推進事業の実績報告書

●食生活、こころの健康

※ 記載時点で未実施のものは(予定)と記載してください。

保健所	テーマ	協議会		作業部会		共同事業	成果及び課題	備考 (今年度の 啓発物等)
		開催 回数	内容	開催 回数	内容			
野田	テーマ「食と健康」 平成30～34年度までの 5ヶ年計画	1	日時：平成31年2月8日 内容：平成30年度実績報告、次年度以降の活動計画 出席者：22人	3	1 第1回作業部会 日時：平成30年5月17日 内容：昨年度実績報告、今年度の事業企画 出席者人数：16人 2 第2回作業部会 日時：平成30年6月25日 内容：今年度の事業企画、目的目標評価指標等の共有 出席者人数：13人 3 第3回作業部会 日時：平成30年12月3日 内容：今年度の実績報告、次年度計画について 出席者人数：11人	1 健康講演会 日時：平成30年9月27日 内容：講演「職場の健康管理」「胃がんの予防と早期発見」 対象者：柏労働基準協会野田支部会員、一般市民、地職関係者、がん検診推進員育成講習会参加者（同時開催） 出席者：101名 2 啓発リーフレット作成及び配布 配布対象及び配布数：市民向け8117部、事業所向け3496部 3 健康セミナー 日時：平成30年8月21日 内容：健康講話、調理実習 出席者：30名 4 野田市健康づくりフェスティバルへの出展 日時：平成30年10月14日 内容：リーフレット配布、パネル展示、アンケート調査、企業協賛品配布 来場者：822名	1 構成機関・協力機関の充実 2 働く世代への一つのアプローチ方法として、子どもや親子向けの健康づくりに焦点をあてた事業展開 3 既存事業の活用	1 市民向け健康リーフレット 2 事業所向け健康リーフレット
海匝	生活習慣病予防対策と心の健康づくり 平成30年度～34年度までの 5カ年計画	1	日時：平成31年2月7日(木)午後2時～3時30分 内容：平成30年度海匝地域・職域連携推進協議会アクションプラン実績報告と次年度計画について 目標1:生活習慣病予防のための食生活改善の推進（野菜摂取量増加促進と減塩の推進） 目標2:疾患（糖尿病・がん・脳血管疾患等）の早期発見と重症化予防 目標3:地域と職域のうつ、ストレス対策の啓発強化 出席者人数：委員21名、事務局8名	5	【食生活改善対策】 1 第1回作業部会 日時：平成30年4月25日午後2時～4時 内容：管内の健康状況と取り組みの経緯 海匝「やさ・しー・い食の応援店」について 出席者人数：15人 2 第2回作業部会 日時：平成30年12月13日午後2時～4時 内容：「やさ・しー・い食の応援店」事業進捗状況 「やさ・しー・い食の応援店」周知・啓発 出席者人数：17人 【メンタルヘルス対策】 1 第1回作業部会 日時：平成30年7月11日午後3時30分～5時 内容：働く人のメンタルヘルス対策について ストレスチェック調査票（海匝版）の検討 働く人の精神保健福祉相談日の開催 事業所・従事者への普及啓発 出席者人数：16名 2 第2回作業部会 日時：平成30年9月12日午後3時30分～5時 内容：働く人のメンタルヘルス対策について 広報誌の発行について 相談機関について 出席者人数：15名 3 第3回作業部会 日時：平成31年1月9日午後3時30分～5時 内容：働く人のメンタルヘルス対策について 「こころく健康通信」発行後の相談状況 ストレスチェック票について 「こころく健康通信」第2回の発行について 事業に関わる評価項目について 出席者人数：15名	啓発リーフレット作成及び配布 配布対象及び配布数： ・クリアファイル 看護の日イベント（5月12日） 100名 食生活改善協議会（5月18日） 72名 給食施設講習会（6月20日） 95名 県民の日イベント（6月17日） 359名 銚子観音門前軽トラ市（10月28日） 150名 銚子市健康まつり（11月3日） 100名 ・やさ・しー・い食の応援店概要についてのちらし 食生活改善推進員研修会（5月18日） 72名 食品衛生講習会（5月～6月 6回） 1995名 給食施設講習会（6月20日） 95名 海匝保健所管内栄養士会研修会（9月6日） 34名 広報紙への掲載 10月1日号 匝瑳市 商工そうさ 12月10日号掲載 ホームページへの掲載 要領及び申込書様式の掲載 9月末 応援店概要についてのチラシの掲載 1月末 海匝健康福祉センターだよりへの掲載 銚子商工会議所職員による個別訪問 ・やさ・しー・い食の応援店認定店舗一覧 銚子観音門前軽トラ市(10月28日) 180名 銚子市健康まつり(11月4日) 150名 旭市産業まつり(11月11日) ※ 100名 そうさ農業まつり(11月11日) ※ 100名 落花生図画表彰(1月9日) ※ 食生活改善推進員研修会(1月10日) 28名 海匝健康福祉センターだよりへの掲載(第2回) 応援店認定店のチラシ掲載(1月末) ※海匝農業事務所の協力による ・こころく健康通信 海匝！ 銚子労働基準協会(11月20日) 発送依頼500部 銚子商工会議所(11月20日) 発送依頼1600部 匝瑳商工会(11月20日) 発送依頼1000部	成果 「やさ・しー・い食の応援店」実施要領及び認定店が掲示するステッカーを作成した。 「やさ・しー・い食の応援店」は、平成30年10月から認定を開始し、認定店舗は、平成31年1月21日現在38店舗(目標:平成34年度までに200店舗以上)となった。 応援店拡大については、委員の協力を得て進められていることが、増加につながっている。 各種研修会、講習会等、既存の事業を利用して応援店の概要について周知するほか、市広報紙や商工会会報に掲載し周知できた。 働く人のメンタルヘルス対策に関する広報誌として「こころく健康通信海匝1」創刊号を発行した。 海匝ストレスチェック票の作成 課題 やさ・しー・い食の応援店認定店舗の拡大 働き盛り世代への健康情報発信 住民の認定店認知度の把握 海匝ストレスチェック票を実施するモデル企業の選定と実施 ストレスチェック票の活用方法	1やさ・しー・い食の応援店募集チラシ 2やさ・しー・い食の応援店一覧チラシ 3減塩啓発チラシ 4野菜摂取促進啓発用クリアファイル 5県民の食生活の特徴 6こころく健康通信海匝！ 7やさ・しー・い食の応援店のぼり

平成30年度保健所圏域地域・職域連携推進事業の実績報告書

● 糖尿病重症化予防

※ 記載時点で未実施のものは(予定)と記載してください。

保健所	テーマ	協議会		作業部会		共同事業	成果及び課題	備考 (今年度の 啓発物等)
		開催回数	内容	開催回数	内容			
印旛	生活習慣病予防 糖尿病重症化予防対策 平成29年度～平成34年度までの2期6ヵ年計画	1	日時:平成31年1月22日 内容:1.健康ちば21(第2次)中間評価について 2.平成29年度及び平成30年度印旛地域職域連携推進事業について ①作業部会 ②共同事業等 ③職域の取り組み ④その他 3.今後の取り組みについて 出席者人数:24か所29名	2	1 第1回作業部会 日時:平成30年6月29日(金) 内容:●継続取り組みについて ●今年度テーマ(目標)の取り組み方法・取り組み期間について ●共同事業等の企画案 出席者人数:8か所8名 2 第2回作業部会 日時:平成30年11月21日(火) 内容:●各所属の担える役割について ●健康増進につながる職域の取り組みの情報共有 ●今後の取り組みの提案 出席者人数:10か所14名	1 健康教育:合計6回399名 成田労働基準協会 2回 延べ236名 東金労働基準協会 2回 延べ84名 佐倉商工会議所 1回 延べ19名 千葉土建八街支部 1回 延べ60名 2 前年度までのテーマで作成した「がん検診の案内チラシ」の継続作成・配布	成果:事業について改めて整理し方向性を再確認し、共通認識とした。職域の、働き盛りに向けて行っている健康づくりについて共通の情報を得た。 課題:・地域保健も職域も、この事業が自分たちの事業とどう関係するのか未だに認識が不十分である。作業部会や協議会への職域担当委員の出席者が固定しており、参加者数も少ない。 ・職域に関心を持ってもらえ、一緒に取り組めるような内容の工夫は毎年の課題	がん検診の案内チラシ
長生	糖尿病重症化予防について	1	平成30年9月6日(木) 1 長生地域の糖尿病重症化予防の取組みについて 1)平成29年度までの取組みについて 2)平成30年度の取組みについて 各市町村、職域、保健所における糖尿病重症化予防にかかる保健指導に関する取り組みの説明、共有 3)その他 「平成30年度 成人保健事業一覧」の活用について	3	① 平成30年7月6日(金) 1、平成28年度、29年度の取組みについて 2、平成30年度の取組みについて (1)医療との連携 (2)受診勧奨後のフォロー (3)保健指導の充実 ② 平成30年12月14日(金) 1、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに係る保健指導マニュアルについて(報告) 2、事例検討 ③ 平成31年2月18日(月) 長生健康福祉センター(保健所)地域職域連携推進事業における糖尿病重症化予防への取り組み 1、平成30年度事業のまとめについて 2、平成31年度計画について	平成30年6月27日(水) ① 茂原市長生郡糖尿病性腎症重症化予防事業マニュアル説明会【特別講演1】 「千葉県における糖尿病性腎症重症化予防プログラム」 鶴澤康広 医師 (茂原市長生郡医師会 地域医療・健康診査担当理事 茂原市長生郡糖尿病性腎症重症化予防プログラム対策会議委員) 武田将伸 医師 (茂原市長生郡医師会 副会長 茂原市長生郡糖尿病性腎症重症化予防プログラム対策会議委員) 【特別講演2】 茂原市長生郡糖尿病性腎症重症化予防事業マニュアル 宮下祐子 保健師 (茂原市役所健康管理課)	○ 茂原市が「茂原市糖尿病性腎症重症化予防事業マニュアル」や「糖尿病性腎症重症化予防保健指導マニュアル」を策定、実施されたことや、茂原市長生郡医師会による協力医療機関のリスト作成や糖尿病連携手帳を活用した医師、保健師 等の連携により、茂原市は医療機関と行政との円滑な連携や受診勧奨後のフォローが可能になる体制が整備された。来年度から他町村も実施することで、「医療機関との連携」「受診勧奨後のフォロー」は整備されると考えられる。 ○ 30年度から31年度にかけて管内市町村が「糖尿病性腎症重症化予防事業」を開催するため、その保健指導に関するスキルアップを主軸として事業を行った。今後は、職域を巻き込んだ「糖尿病重症化予防」を進めることが課題。	平成30年度 長生保健所管内市町村「成人保健事業一覧」

● 休養・睡眠

安房	よりよい生活習慣に向けた取組 ～良い睡眠でこころもからだも健康に～	1	日時:平成31年3月15日(予定) 内容: (1)安房保健所地域・職域連携推進事業実施状況について (2)第2回睡眠に関する実態調査の結果について (3)次年度以降の取組について (4)その他	2	1 第1回作業部会 日時:平成30年7月20日(金)午後2時～4時 内容: (1)平成30年度事業計画について (2)各所属における取組状況について (3)中間評価について (4)講演会について (5)その他 出席者数:12名 2 第2回作業部会 日時:平成31年1月17日(木)午後2時～4時 内容: (1)今年度の実施内容について (2)第2回実態調査【中間評価】報告 (3)次年度計画について 出席者数:10名	1 睡眠に関する講演会 日時:平成31年2月22日(金)午後2時～4時 講演:「睡眠のはなし」 講師:医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 柴山 秀博 医師 内容:睡眠の基本的知識 睡眠と生活習慣病の関係 不眠症、睡眠時無呼吸症候群について 対象:一般住民及び医療・福祉・学校関係者等 参加者数:102名 2 第2回睡眠に関する実態調査(中間評価) 対象:①平成30年度全国労働衛生週間説明会出席者(管内の事業主、衛生管理者) ②安房郡市内の小学校3年生全員の保護者 ③ " 中学校2学年のうちの各校1学級全員の保護者 配付数:1,269人、回収数:1,116人(回収率:87.9%) 有効回答:1,093人 3 睡眠外来に関する実態調査及び医療機関リスト作成 対象:安房管内の医療機関(病院、診療所) ※内科、精神科、心療内科、小児科、耳鼻科を標榜する施設 4 講話 ①食品衛生講習会「健康づくりのための睡眠について」 日時:平成30年4月12日、4月16日、6月5日、6月13日、6月29日 人数:計700名 ②全国理容組合衛生遵守強化運動 衛生講習会 日時:平成30年10月22日 人数:計70名	・前年度の協議会より、職域に出て講話を行うことが必要と言う意見があり、食品衛生講習会及び全国理容組合衛生遵守強化運動衛生講習会の場で「健康づくりのための睡眠について」の講話を行い、昨年度作成したリーフレットの配布と合わせて知識の普及啓発を図り、多くの人に呼びかける機会となった。 ・平成28年度に睡眠に関する実態調査が、今回は中間評価として、睡眠に関する実態調査を実施した。第1回作業部会にて調査項目の見直しや文言の修正を行った。今回の調査では、前回回答が多かった主婦層が減少し、勤労者の回答が増えたが、その分前回調査との比較や、普及啓発の評価がしにくい結果となった。 ・第2回作業部会にて住民に対する調査結果等の情報発信について、講演会の開催や出前講座だけではなく、広報誌や新聞等のツールを活用すべきであるとの意見があった。広く知識や情報を伝えるために、今後新聞等媒体の活用も検討していきたい。会議等の場に出向いて講話する際、いかに興味を持って聞いてもらうかが課題との意見があった。聞き手によって話の切り口を変える等、伝え方に工夫が必要である。 ・睡眠相談可能な医療機関の更新調査について、委員より活用事例の報告があった。引き続き実施し、更新の際には周知を行う。 ・講演会では、募集人数を超える申込があり、普及啓発の機会となった。昨年度と比較し参加者が増加しており、参加しやすい日程や周知方法、内容を検討していく。	1 健康づくりのための睡眠について(講話にて使用するリーフレット)
----	--------------------------------------	---	---	---	---	---	--	-----------------------------------